

「専修学校フォーラム2020」

参加者アンケート結果

(令和2年2月6日、7日)

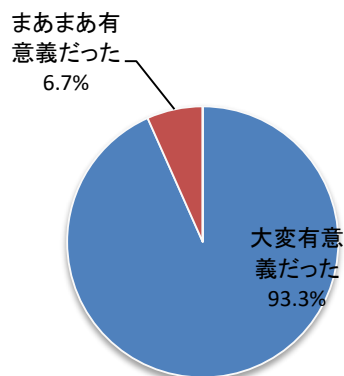
●参加者数:	211名
●回答者数:	19名
●回答率:	9.0%

一般社団法人全国専門学校情報教育協会

問1. 全体会について

1. 基調講演「DX時代におけるIT活用に関する課題と今後の展望」

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	14	93.3%
まあまあ有意義だった	1	6.7%
どちらともいえない	0	0.0%
有意義ではなかった	0	0.0%
全く役に立たない	0	0.0%
計	15	100.0%



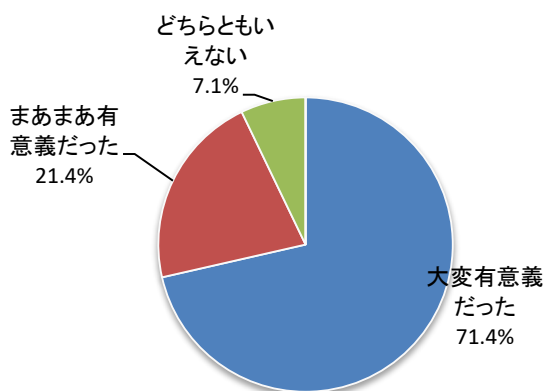
《 評価の理由 》

- ・DXについてのとらえ方、考え方を知ることができました。
- ・DXやAIについて、非常に分かり易く話があった。
- ・とても分かり易い説明で的を射た内容だったと思います。
特にデジタルディスラプションの説明と育成に関しての提示が印象に残りました。
- ・身近な話題で分かりやすく説明して頂いた所
- ・ユニークな視点に立たれた理論が参考になりました。
- ・吉田様の公演は大変参考になりました。デジタルトランスフォーメーションのとらえ方が理解できました。
- ・分かり易かったため

2. パネルディスカッション

「DX時代におけるIT業界並びにITユーザーに必要な人材」

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	10	71.4%
まあまあ有意義だった	3	21.4%
どちらともいえない	1	7.1%
有意義ではなかった	0	0.0%
全く役に立たない	0	0.0%
計	14	100.0%



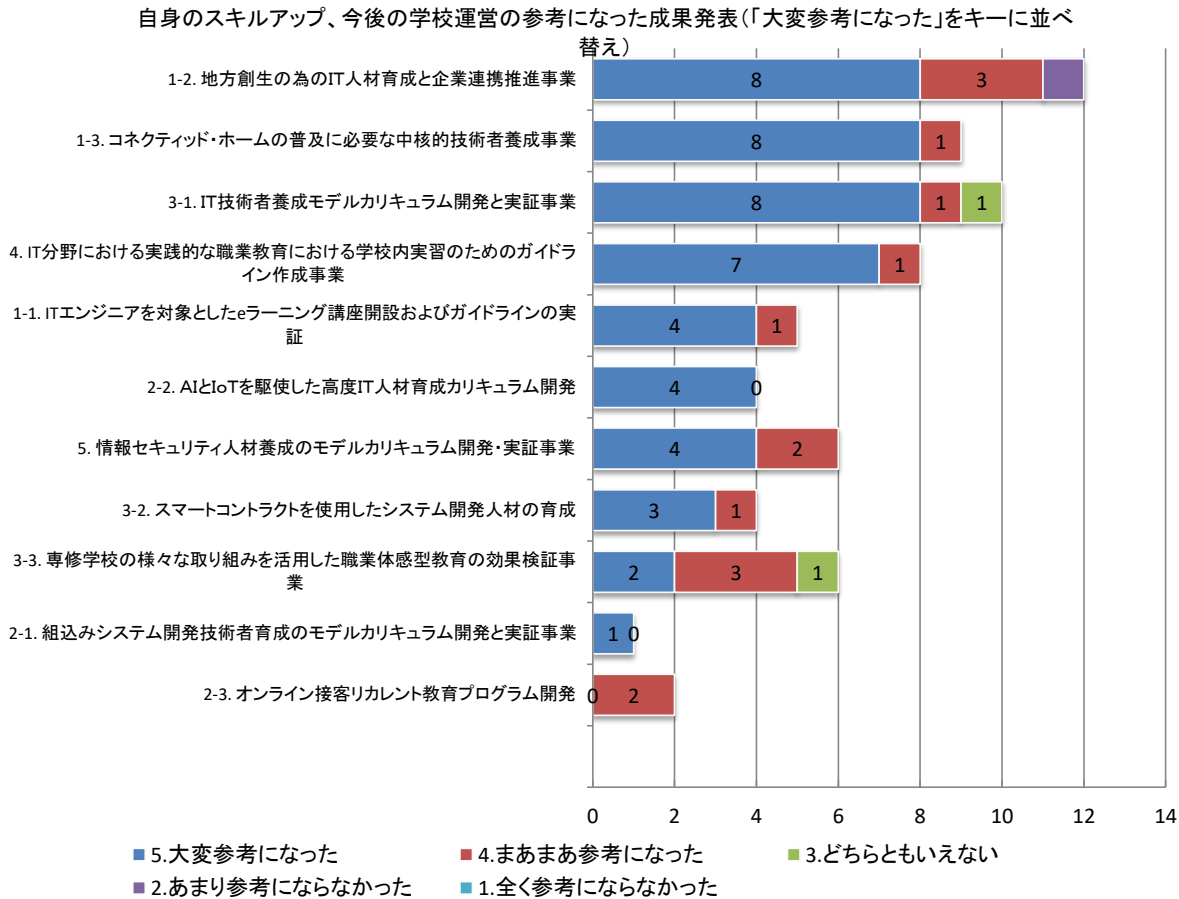
《 評価の理由 》

- ・各専門学校の考え方が良く分かりました。
- ・大変興味深かったです
- ・多様なご意見が聞けたため
- ・取り組みへのヒントを見つけることが出来ました。
- ・パネラーの皆さまの広い見識と進行のファシリテーションの巧みさで短い時間の中で内容の詰まったディスカッションだったと思います。様々な気づきがありました。ありがとうございました。
- ・DXというテーマが壮大で実際とのギャップは感じた。
日本電子専門学校の大川さんの話には同調するものが多くあった。
- ・学ぶべき内容が多く、教える側に求められる事が多岐にわたる、教育確保が難しい。
教える科目の選択をさせていきたい。
- ・メンバーの自己紹介の時間が長すぎる

問2. 文部科学省プロジェクトの成果報告発表について

①自身のスキルアップ、今後の学校運営の参考になった成果発表

(「大変参考になった」をキーに並べ替え)



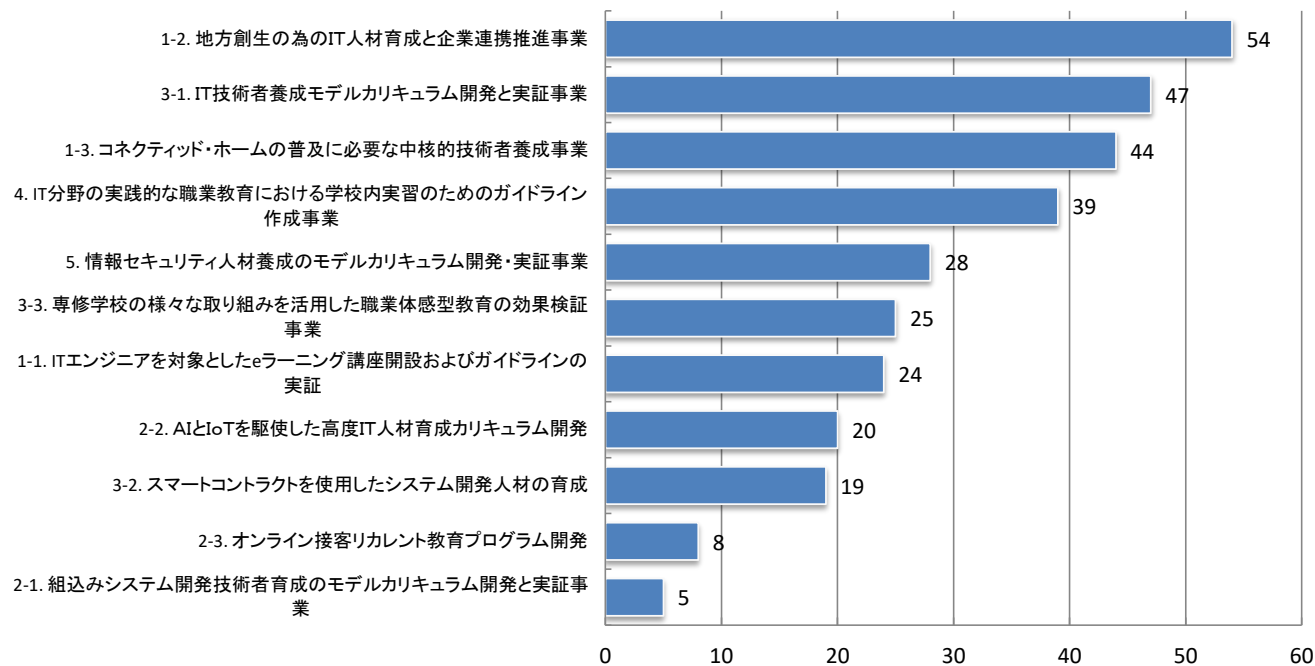
(「大変参考になった」をキーに並べ替え)

委託事業名	5. 大変参考になった	4. まあまあ参考になった	3. どちらともいえない	2. あまり参考にならなかった	1. 全く参考にならなかった
1-2. 地方創生の為のIT人材育成と企業連携推進事業	8	3	0	1	0
1-3. コネクティッド・ホームの普及に必要な中核的技術者養成事業	8	1	0	0	0
3-1. IT技術者養成モデルカリキュラム開発と実証事業	8	1	1	0	0
4. IT分野における実践的な職業教育における学校内実習のためのガイドライン作成事業	7	1	0	0	0
1-1. ITエンジニアを対象としたeラーニング講座開設およびガイドラインの実証	4	1	0	0	0
2-2. AIとIoTを駆使した高度IT人材育成カリキュラム開発	4	0	0	0	0
5. 情報セキュリティ人材養成のモデルカリキュラム開発・実証事業	4	2	0	0	0
3-2. スマートコントラクトを使用したシステム開発人材の育成	3	1	0	0	0
3-3. 専修学校の様々な取り組みを活用した職業体感型教育の効果検証事業	2	3	1	0	0
2-1. 組込みシステム開発技術者育成のモデルカリキュラム開発と実証事業	1	0	0	0	0
2-3. オンライン接客リカレント教育プログラム開発	0	2	0	0	0

問2. 文部科学省プロジェクト成果報告発表について

①自身のスキルアップ、今後の学校運営の参考になった成果発表 (順位をポイント化した総合順位)

自身のスキルアップ、今後の学校運営の参考になった成果発表(順位をポイント化した総合順位)



(順位をポイント化した総合順位)

※ポイントとは→5.大変参考になった=5 4.まあまあ参考になった=4 3.どちらともいえない=3
2.あまり参考にならなかった=2 1.全く参考にならなかった=1

委託事業名	5.大変参考になった	4.まあまあ参考になった	3.どちらともいえない	2.あまり参考にならなかった	1.全く参考にならなかった	総合ポイント	総合順位
	(5p)	(4p)	(3p)	(2p)	(1p)		
1-2. 地方創生の為のIT人材育成と企業連携推進事業	40	12	0	2	0	54	1
3-1. IT技術者養成モデルカリキュラム開発と実証事業	40	4	3	0	0	47	2
1-3. コネクティッド・ホームの普及に必要な中核的技術者養成事業	40	4	0	0	0	44	3
4. IT分野の実践的な職業教育における学校内実習のためのガイドライン作成事業	35	4	0	0	0	39	4
5. 情報セキュリティ人材養成のモデルカリキュラム開発・実証事業	20	8	0	0	0	28	5
3-3. 専修学校の様々な取り組みを活用した職業体感型教育の効果検証事業	10	12	3	0	0	25	6
1-1. ITエンジニアを対象としたeラーニング講座開設およびガイドラインの実証	20	4	0	0	0	24	7
2-2. AIとIoTを駆使した高度IT人材育成カリキュラム開発	20	0	0	0	0	20	8
3-2. スマートコントラクトを使用したシステム開発人材の育成	15	4	0	0	0	19	9
2-3. オンライン接客リカレント教育プログラム開発	0	8	0	0	0	8	10
2-1. 組込みシステム開発技術者育成のモデルカリキュラム開発と実証事業	5	0	0	0	0	5	10

②参考になった、印象が強かった理由:

■1-1. ITエンジニアを対象としたeラーニング講座開設およびガイドラインの実証

- ・ITエンジニアを対象としたeラーニング

■1-2. 地方創生の為のIT人材育成と企業連携推進事業

- ・利害が絡み合う道内専門学校関係者を取りまとめたパワーとエネルギーに敬服しました。

■2-1. 組込みシステム開発技術者育成のモデルカリキュラム開発と実証事業

- ・教育に取り込める内容でした。

■2-2. AIとIoTを駆使した高度IT人材育成カリキュラム開発

- ・AIにIoTの可能性を知る事ができました。
- ・医療IT人材の立場が確立してきている現状を理解できた。

■2-3. オンライン接客リカレント教育プログラム開発

- ・本校にはビジネス系学科があり、そのカリキュラムをどのようにするか悩んでいます。
- IT分野とビジネス分野のコラボレーションが必要と考えたので参考になりました。

■3-1. IT技術者養成モデルカリキュラム開発と実証事業

- ・本校のIT系各学科で取り組むべき技術内容を検討するにあたり、たいへん役に立つ内容であったため
- ・取組むのが難しいテーマにGoalからの逆算というアプローチで果敢に取り組まれ、成果物を作成できたのが素晴らしいと思いました。ディーオーシャン満岡様の話も面白かったです。
- ・配布の資料がとても良かった
- ・AI人材育成における具体的なカリキュラムの方向性の提示
- ・AI人材育成のポイント。

■3-2. スマートコントラクトを使用したシステム開発人材の育成

- ・人材不足の中で有効性が高い事
- ・テキストが直ぐ現場で使える事
- ・教材が素晴らしいと思いました。
- ブロックチェーン、スマートコントラクト自体の人气が下がってしまったのが残念です。
- ・パワーポイントが授業で使えるようになること
- ・実証授業に本校が協力させていただきました。学生からの反応もまずまずとても参考になりました。

■3-3. 専修学校の様々な取り組みを活用した職業体感型教育の効果検証事業

- ・提示いただいたデータが参考になった
- ・相談相手No.1が「母」というのが初めての視点で興味をひかれました。
- ・連合会としての計画的統一的活動の推進のポイント。

■4. IT分野における実践的な職業教育における学校内実習のためのガイドライン作成事業

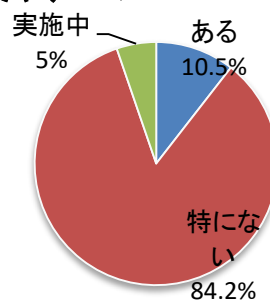
- ・本校でもさまざまに取り組んでいるテーマで大変参考になりました
- ・連携先探しのアプローチ方法などためになりました。なかみはこれから読み込みたいと思います。
- ・学校内実践デジタル教育の具体案の提示、定義の提示。

■5. 情報セキュリティ人材養成のモデルカリキュラム開発・実証事業

- ・産業連携の重要性と実施の困難さについての再認識
- ・何度か委員会に参加させていただきました。貴重なお話を伺うことができ、とても役に立ちました。
- ・資料をあらかじめ予習しておけば良かったかと思えます。
- DX, AIは範囲や概念が広すぎるので捉え方が様々なのだなという印象を受けました。

問3. 今後、文部科学省プロジェクト等で取り組みたい事業やテーマ

NO	回答	回答数	%
1	ある	2	10.5%
2	特にない	16	84.2%
3	実施中	1	5.3%



■具体的な内容:

- ・高大接続改革と専修学校(専門学校)との関連。大規模なCBTなど。
- ・内容によるが前向きに検討したい
- ・Society5.0人材育成

■本会からの情報提供や連携校の紹介などのご希望がありましたら具体的にお知らせください。

- ・各種案内などいただけるとありがたいです。

問4. 御校で課題となっている事項やお悩みの点、希望する研修テーマなど

- ・AI等先端技術を持つ教員の確保が難しい。
- ・教員のスキル向上、教員の確保
- ・研修テーマ「AI」新学科立ち上げの準備のため
- ・先進的分野でのIT系教師の確保策喫緊の課題です

以上